



令和5年度 南丹市立八木東小学校グランドデザイン

＜教育目標＞ 意欲をもって学び、ふるさとを愛する心豊かな児童の育成

学校教育の重点(京都府教育委員会)

全教職員の協働体制のもと 人権教育を基盤として
一人一人が大切にされ、一人一人が輝く学校に！

南丹市教育の指針(南丹市教育委員会)

すべてをつなげて 高める

自己肯定感・有用感

- 授業に活かそう 生徒指導の3機能
 - ・人の役に立ちたい。自己存在感
 - ・自分で決めたい。自己決定
 - ・仲間の考えを知りたい。共感的理解
- 人が喜ぶ 役割と責任
- 聴こう 最後まで
- 挑戦も失敗も 宝
- 自分も仲間も 大切に

・家庭・地域・学校とつながりのある連携(日々の連絡・通信・ホームページ・学校だより・防災無線・PTA広報等での成果の報告)

R 実態把握

特活(学級・児童会)
各行事との融合

キーワード「進んで」

- ・人が喜ぶこと(自分も楽しい)
- ・めんどろな事(大切なこと)
- ・新しい取組(同じに満足しない)
- ・自分の気持ちを表現(言語活動)(じょうずでなくても)

主体的な姿

(児童・教職員)

- 聴きたい、考えたい、伝えたい
心が動く授業(言語活動)
- 自分も仲間も楽しい
(児童初) 特別活動
- 改善しよう 日常生活
続けよう よき習慣
 - ・あいさつは 自分から
 - ・伝えよう ありがとう
 - ・行こう 図書室
読もう 一冊でも多く
 - ・続けよう 体づくり
 - ・守ろう 健康や命
- 本音で語ろう 道徳授業

人権教育

- ・全教育活動の基盤として位置付け
- ・いじめ防止(ブリッジ会議の定例)
- ・教職員人権研修(定期的)

特別支援教育

- ・個別最適な指導・必要な支援
- ・児童・保護者のニーズに寄り添う
- ・関係機関との連携と情報共有

評価・ワンアップ

- 前向きになる 声かけを
- ほめよう 育てたい児童の姿を
- みんなでやりきった 達成感を
- 共有しよう 振り返りを
- ・人のよさを認め、常に相手軸に立つ言動への導き
- ・少し上の新たな価値を目指す 目標設定と継続した意識付け

体験・挑戦

- 有効に活用しよう タブレット
- 連携しよう 八木中学校ブロック
(地域道徳・みんなで道徳・あいさつ運動・児童生徒発の取組)
- 楽しもう 校内研究会(積み重ね)
- ・学校行事・体験活動・PTA親子活動
(自然・学習発表・宿泊等)
- ・キャリア教育(心躍る先輩からの話)

主体的・対話的で深い学びへ

○安心・安全な学校

○教育環境の整備

○教職員の資質能力の向上

○子どもと向き合う職場

防災・安全指導
食育指導

家庭・地域とつなげる「地域とともにある学校づくり」

業務改善
効率化・役割化


学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と熟議

＜共通子育て目標＞ 「心と心をつなぎ ふるさと 子どもも地域も元気に！」

～地域が育む豊かな心・輝く子ども～

PTA、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)との連携

キャッチフレーズ

- あ りがとう 
- い っぱい
- さ かせて
- つ ながろう